


# JAMSTEC Library Communication

No.93

いよいよ 200 回目を迎えた公開セミナー。今回は、ユニークな方法によって海流の流れ・分布の結果を予測する研究についてご紹介いたします。

じめじめとした季節、こんな時こそ部屋にこもってゆったりと読書の時間を満喫してみてもはいかがでしょうか？ 



## 『海は動く』ってどういうこと?』海まるごと大研究 1

保坂直紀著・こどもくらぶ編集 / 講談社刊

海洋学全般に関する子供向けシリーズの第1巻。海流や波、潮など「動く」をキーワードに海の基礎知識をわかりやすく解説しています。「風は何がつかう?」「深層の海水の古さを調べる方法」などコラム的に書かれた《豆知識》も興味深く、児童書ではありますが、「昔子供だった人」も思わず読みふけてしまう1冊です。(T)



## 『海がわかる 57 のはなし : おどろきのサイエンス』

藤岡換太郎著 / 誠文堂新光社刊

「海の水は、なぜしょっぱいの?」といった素朴な疑問から、壮大な「宇宙誕生」の話まで、海に関するさまざまな知識が見開き1~2ページに簡潔にまとめられています。海流の生まれるしくみについて書かれた1章は、解説図もわかりやすく、海の基礎知識を得るための入門書としておススメの1冊です。(U)



## 『天気と海の関係についてわかっていること知らないこと』

筆保 弘徳 (編) / ベレ出版刊

海洋が気象に及ぼす影響については、近年、さまざまな研究が進められています。そのホットな分野の「わかっていること」の最前線とは。そして、「わかっていること」の解明のために、今まさに立ち向かっている研究の内容とは・・・?

「空と海の間にある謎」を新進気鋭の研究者が解き明かす道程、5月25日に刊行されたばかりの最新刊でたどってみませんか? (N)



**速報! 第63回産経児童出版文化賞 (JR賞) 受賞!**

『理科好きな子に育つ ふしぎのお話365』自然史学会連合監修 誠文堂新光社刊  
1日1話の楽しいお話。科学の不思議に気づき、驚き、考え、体験し、自然が大好きになる、素敵な児童書です。JAMSTEC 研究者も執筆・監修協力しています。



## 第200回地球情報館公開セミナー 参考文献一覧

開催日時:平成28年6月18日 13:30~15:00

### 「オオミズナギドリと貨物船で海流を測る ～新たな観測手法がひらく海流予測の新展開～」

講師: 宮澤 泰正 (アプリケーションラボ 海洋・大気環境変動予測応用グループ)



#### 講師推薦の参考文献

##### <学術論文と図書>

論題/書名	著者名	掲載雑誌名・巻号 / 出版社	備考
1 Assimilation of the seabird and ship drift data in the north-eastern sea of Japan into an operational ocean nowcast/forecast system	Miyazawa, Y., X. Guo, S. M. Varlamov, T. Miyama, K. Yoda, K. Sato, T. Kano, and K. Sato	Scientific Reports, 5, Article No.17672. (2015)	★オンラインで無料公開されている雑誌論文です。 <a href="http://www.nature.com/articles/srep17672">http://www.nature.com/articles/srep17672</a> で読むことができます。
2 野生動物は何を見ているのか: バイオロギング奮闘記	佐藤克文, 青木かがり, 中村乙水, 渡辺伸一	丸善プラネット	★新着図書

テーマ関連参考資料リスト: 今回は海流・気候変動・動物行動学などに関する資料を集めました。図書館2Fに多数展示しています。どうぞ来館ください!

##### <専門書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 海鳥の行動と生態: その海洋生活への適応	綿貫豊	生物研究社	★新着図書
2 天気と海の関係についてわかっていることのないこと	筆保弘徳	ベレ出版	★新着図書 ★(裏面)Library Communication No.93で紹介しています
3 チェンジング・ブルー: 気候変動の謎に迫る	大河内直彦	岩波書店	
4 地球変動研究の最前線を訪ねる: 人間と大気・生物・水・土壌の環境	小川利純, 及川武久, 陽捷行編	アサヒビール 清水弘文堂書房	

##### <一般書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 風はなぜ吹くのか、どこからやってくるのか	杉本憲彦	ベレ出版	★新着図書
2 ペンギンが教えてくれた物理のはなし	渡辺佑基	河出書房新社	★新着図書
3 海がわかる57のはなし : おどろきのサイエンス: 素朴な疑問から最新の話まで	藤岡換太郎	誠文堂新光社	★(裏面)Library Communication No.93で紹介しています
4 海の色が語る地球環境: 海洋汚染と水の未来	功刀正行	PHP研究所	
5 気候科学の冒険者: 温暖化を測るひとびと	中島映至監修	技術評論社	
6 バイオロギング: 動物たちの不思議に迫る: 最新科学で解明する動物生態	日本バイオロギング研究会編	京都通信社	

##### <児童書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 「海は動く」ってどういうこと?	保坂直紀著; こどもくらぶ編集	講談社	★(裏面)Library Communication No.93で紹介しています
2 ちいさな鳥の地球たび	藤原幸一写真・文	岩崎書店	
3 いろいろな船	ネイチャー&サイエンス編著	偕成社	

上記の資料は2016年7月14日まで横浜研究所地球情報館2F図書館にて展示しております

(図書館の開館時間 平日10:00~17:00、公開セミナー開催の第3土曜日10:00~16:00)

お問い合わせ: 海洋研究開発機構 研究推進部 研究推進第2課 横浜図書館 045-778-5476 library@jamstec.go.jp